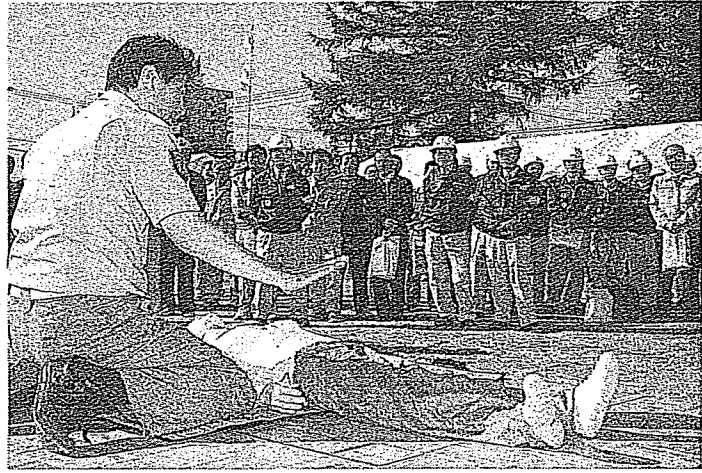


十勝沖から4年目備え忘れず

宮坂建設が防災訓練 帯広

十勝沖地震から四年目の二十六日、帯広市の宮坂建設（宮坂寿文社長）が市内で震度5強の地震を想定した防災訓練を行った。同社は九月二十六日を防災の日と定め、三年前から毎年、訓練を行っている。



消防署員による応急措置の実演に見入る社員ら

この日は、地震発生想定時間の午前十一時、社内に災害対策本部を設置。続いて、社員が手分けして、災害時の管理を委託されている市内の河川や同社が手掛けた建物をパトロールした。同社札幌支店でも同

日、台風による豪雨を想定した訓練を行い、本部の担当者テレビ会議で連絡を取り、情報伝達の手順などを確認した。また、帯広市中央公園では、消防署員による心

肺蘇生法の実演や、地震の揺れを疑似体験できる車の体験搭乗などが行われ、社員らが防災意識を高めていた。

一方、同社は同日、災害時に役立ててもらおうと、無線機を備えた乗用車一台を市消防本部に寄贈した。（水野富仁）